

平成 28 年 3 月 27 日発行

大町山岳博物館友の会 第 167 号

ゆきつばき通信



行事のご案内

平成 28 年度山博友の会 総会・講演会

講演会

「大町山岳博物館をとおした地域資源の再発見

—友の会が支える博物館事業から—

信州大学地域戦略センター 麻田玲さん

《期 日》 4 月 24 日（日） 午後 1 時 30 分 ～ 3 時 00 分

《場 所》 山岳博物館 講堂

《参加費》 無料

《内 容》 信州大学と大町市は、「大町市定住促進研究」を平成 27 年度に実施しました。この度は、「大町山岳博物館をとおした地域資源の再発見—友の会が支える博物館事業から—」の研究にあたられた麻田 玲 研究員（信州大学）より、お話をお聞きし、意見交換を行います。

友の会総会

講演の後は 28 年度総会を行います。友の会の活動をより有意義にするために、ぜひ多くの方にご出席いただき、意見を交換いただきたいと思います。

《期 日》 4 月 24 日（日） 午後 3 時 30 分 ～ 5 時 00 分

《場 所》 山岳博物館 講堂

《内 容》 平成 27 年度の事業報告・決算報告 平成 28 年度の事業計画・予算案
その他、会員からの提議に関する協議・決議
事業・行事へのご提案ご意見ご希望をお願いします。

烏帽子の会

活動報告 木曾川源流「水木沢天然林」散策

《月日》11月3日（火） 《天気》晴れ 《参加者》16名

《コース状況：その他周辺情報》

前日の雨で少し足元が滑りやすくなっていましたが、全体的に道は整備されていました。いたるところに熊よけの鐘がおいてあり案内板にも熊がかじったあとや熊の毛が残っていました。

手付かずの自然林と人工林の比較や軌道敷跡もみることができました。



《感想》

今回「烏帽子の会」では初めての企画で地元NPO法人のガイドさんをお願いしました。ガイドさんに知らなかったことをいろいろと教えていただき、本当に勉強になりました。

サワラの名前の由来が沢沿いに育つからとか昔の言葉で「サワラカ」という言葉があり（すっきりしているとかさわやかなとかいう意味）サワラの枝が細くヒノキに比べて枝がゴチャゴチャしていないから、さわらかからサワラになったとか。ツルアリ

ドウシは花が2つに実が1つでおへそが2つあるとか。

ミズナラとコナラの見分け方とかを教えてくださいました。

参加人数もこの数年では珍しく16名になりました。今後もこういった企画を考えていきたいと思います。



《コースタイム》

松川村道の駅 7:00～水木沢天然林管理棟 9:00～水木沢源頭 11:10～展望台 12:15 昼食～13:00～原始の森～巨大ヒノキ～管理棟 14:00～ウッディーモックお風呂～15:30～松川村道の駅 17:30

活動報告 戸隠三院と古道ウォーキング

《月日》1月31日（日） 《天気》晴れ時々くもり

《参加者》13名（内お試しゲスト 1名）

《コース状況：その他周辺情報》

12月中旬の下見時には全く雪がなく、林道には、適時標識があり問題はなかった。例会当日の積雪は当然予想されていたが、女坂の分岐の標識を見落としたため、一度林道に出てしまった。土地の人の親切な案内で、女坂に戻ることができ、時間のロスもなく当初のコースを収めることができた。一部のメンバーの「このまま下りよう」という声を振り切り、女坂の帳尻を合わせることができたのはよかったと思う。積雪30cm位。

積雪時の目印など今後は気を付けたい。トイレも冬季は閉鎖されていることが多い。

《感想》

心配されたお天気も晴れ上がり、風もなく、ほどよいウォーキング日和。日影のつるつるで約1名がステンと転んだ以外は、怪我も病気もなく、コースタイムもほぼ予定通りであった。折角、持参したスノーシューやカンジキは、濡れたら面倒とかカンジキがちびるとかの熟年世代らしき理由でザックに着けたまゝ。MさんとSさんの先発隊に感謝。「小川の湯」は狭いけれど、薪で沸かしていて、よく温まるいいお湯だった。



《コースタイム》

大町市役所発 8:00 ⇒ 小川神社発 9:05 ⇒ (衣服調節2度 15分) ⇒ 奥の院着 10:25(休憩 15分)10:40発 ⇒ 中院 11:00/11:15 ⇒ 万人塚着 11:25 (休憩 5分)11:30 ⇒ 展望広場着 12:30 (昼食 40分)13:10発 ⇒ スノーシュー装着 13:20 女坂発 ⇒ (コース間違いから途中で再度女坂へ入るが、ロスタイムはほとんどなし) 14:50 小川村役場着 ⇒ 小川の湯 15:30 (入浴 45分)小川の湯発 16:30 ⇒ 大町市役所着 17:00

花めぐり紀行

総会と居谷里湿原観察会

サークルの今年度の活動報告と来年度事業について話し合います。その後は、当サークルのフィールドである居谷里湿原（長野県大町市）に移動して、観察会を行います。

す。

開催日 平成 28 年 4 月 10 日（日）
 時 間 午前 9 時 30 分～午後 0 時 30 分
 場 所 総 会：山岳博物館 講堂
 観察会：居谷里湿原
 参加費 1 人 500 円（保険料）
 申込み 平成 28 年 4 月 1 日（金）まで



本サークルのお問い合わせは、事務局（電話：0261-23-6334）まで。後日、代表の宮澤陽美きよみさんからご本人にご連絡いたします。

山岳文化研究会

活動報告 「ボランティアの会」「山岳文化研究会」合同研修事業

平成 27 年 12 月 5 日（土）・6 日（日）、「ボランティアの会」と「山岳文化研究会」の 2 つのサークル合同による研修を横浜・東京方面で行いました。

「ボランティアの会」では、会員相互の自己研鑽のために県内や近隣の博物館等へ出かけての研修を例年行っています。今年は、登山史など北アルプスの歴史や民俗について研究を行うサークル「山岳文化研究会」の研修とあわせて、1泊2日での貸切バスの旅による研修事業を実施しました。

明治維新後、来日した外国人のなかに、調査研究や趣味によって日本で登山を行った人びとがいました。彼らが当時滞在した横浜を訪れ、ウォルター・ウェストンが司祭を務めた横浜聖アンデレ教会や小島烏水が勤務した横浜正金銀行（現神奈川県立歴史博物館）などを見学し、日本における近代登山のはじまりについて学びました。あわせて、明治維新前後の歴史背景を学ぶため、江戸・東京の都市と文化や生活を紹介する東京都江戸東京博物館を見学しました。

サークル「山岳文化研究会」会員にとっては、北アルプスの登山史にかかわる横浜周辺のフィールドを探訪し、都内の歴史民俗系博物館を見学したことで、外国人らの日本における近代登山黎明期の様子と、江戸から明治へという当時の時代背景を知る学習の機会となりました。一方、サークル「ボランティアの会」会員にとっては、各博物館でボランティアによる展示解説を実際に受けることで、来館者への接し方やガイド方法等についての実例を体験し、春のゴールデンウィークや夏休み期間中に実施している山岳博物館の館内案内・説明ボランティアに必要な知識や経験を養う好機と



横浜聖アンデレ教会
W・ウェストンや教会の歴史についてご説明いただいた三原司祭と大聖堂内にて



見学風景 ボランティアガイドによる
展示解説

なりました。

ご参加いただいたサークル会員の皆さん、2日間お疲れさまでした。

なお、参加者からの詳細な報告については、今後『ゆきつばき』誌上にて掲載させていただきます。

(サークル「山岳文化研究会」事務局担当：清水・関)

《期 日》 平成27年12月5日(土)・6日(日) 1泊2日

《場 所》 神奈川県横浜市および東京都内

《主 催》 山岳博物館友の会

《参加者》 友の会サークル「ボランティアの会」「山岳文化研究会」会員等及び事務局担当者
計17人

《日程・行程》

○1日目

- ・大町市役所 7:00 集合・出発 (安曇野 IC～横浜町田 IC 経由)
- ・横浜中華街 11:30～13:15 昼食 (自由食)
- ・横浜聖アンデレ教会 13:45～14:15 見学 ※W・ウェストン関連
- ・神奈川県立歴史博物館 (旧横浜正金銀行本店) 14:45～16:15 見学 ※小島烏水関連
- ・横浜開港資料館 (旧英国総領事館) 16:30～17:00 見学
(新山下 IC～上野 IC 経由)
- ・上野 (アメ横) ホテル丸谷 18:00 着 (宿泊)

○2日目

- ・アーネスト・サトウ居住地跡 見学 (有志) 6:30～8:30 (電車移動)
- ・上野 ホテル丸谷 出発 9:00
- ・東京都江戸東京博物館 見学 9:30～12:00

- ・東京スカイツリータウン 観光・昼食（自由食） 12：15～14：30
（駒込 IC～首都高速～安曇野 IC 経由）
- ・大町市役所 18：45 着・解散

ボランティアサークル

ボランティアサークルでは、定例的には第四日曜日に博物館での除草や清掃作業（冬季を除く）、山と博物館の封入作業などを行っています。

後期はボランティアには現在までに、延べ日数で約 12 日、延べで 78 人が活動をしています。

ボランティアの会を含めて、夏季より山の子村での蝶の観察を行いました。多くの蝶の出現はありませんでしたが、4 月 10 日まで行われている企画展「北アルプス山麓の自然に蝶が舞う」でも報告されています。

山岳文化研究会で報告されている合同研修では、神奈川県立歴史博物館と東京都江戸東京博物館で展示解説をしていただきました。ガイドのスキルもそれぞれ素晴らしいものがありますが、各自の得意な分野や思い入れも感じられ、個性を生かしたガイドの良さもありました。また、他のガイドも周りに付いて、各自のスキルをさらに高めている様子も見られました。

ゆきつばき通信編集室より

寒暖変化が激しい早春です。今回は友の会総会のご案内と各サークル活動の報告になります。総会記念の講演会も行います。内容が当初から変更になりましたが、友の会の活動に直結したお話になると思います。お知り合いもお誘いの上お出かけください。大町公園の桜も見頃になると思います。お花見しませんか！

残念なお知らせですが、山博職員として、また、友の会では編集部としてご指導ご活躍いただいた峯村隆さんがご逝去されました。心よりご冥福をお祈りします。

（丸山卓哉）

ゆきつばき通信 第 167 号

発行／大町山岳博物館友の会 平成 28 年 3 月 27 日

〒398-0002 長野県大町市大町 8056-1

大町山岳博物館内 山博友の会事務局 Tel/Fax 0261-23-6334

会費振替口座番号 00550-2-24194 加入者名 山博友の会

山博ページ <http://www.omachi-sanpaku.com/>

友の会は、山博の情報発信のために山博ホームページの維持に協力しています